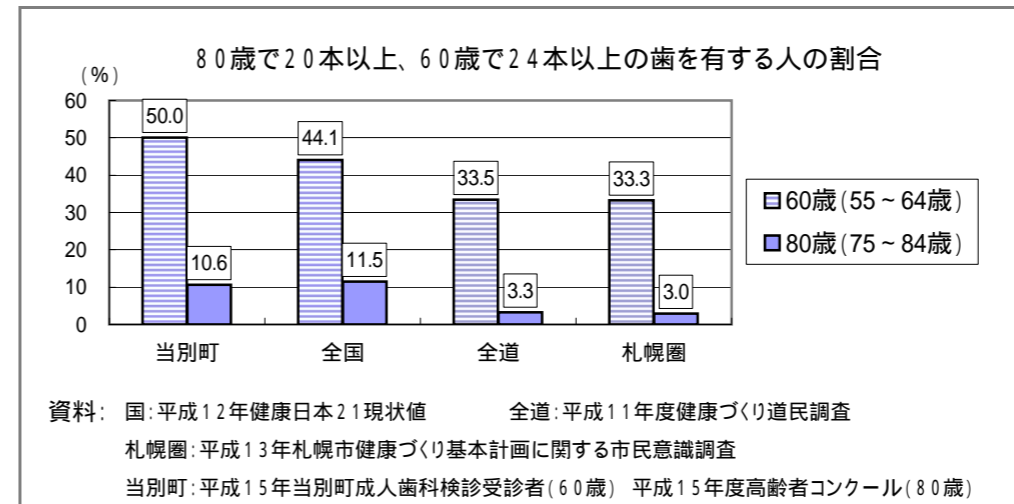


(2)大人の歯の状況

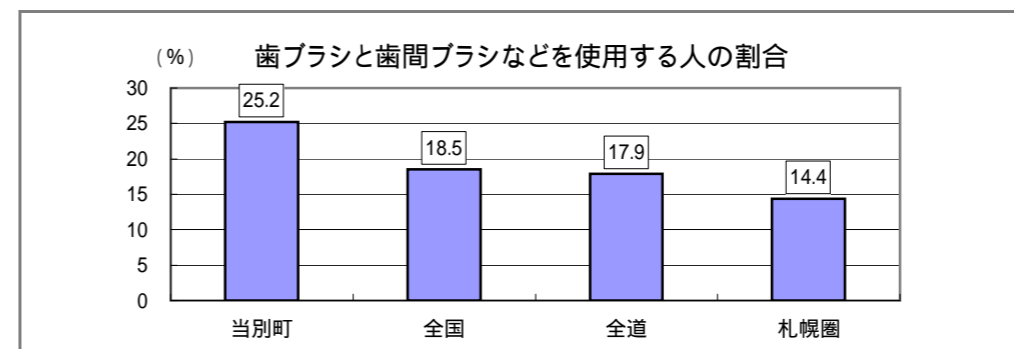
「80歳で20本以上歯のある人」は10.6%(全道3.3%)、「60歳で24本以上歯のある人」は50.0%(全道33.5%)とともに全道より高く、高齢者の歯の保持状態は全道より良い状況です。

歯の抜け落ちる年代を追っていくと、50歳代の喪失歯5.5本、60歳代7.2本、70歳代17.5本と、60歳代から70歳代にかけて歯が抜ける人が多い傾向にあります。



「1日2回以上歯をみがく人」は72.5%(全道56.0%)と全道より高くなっています。

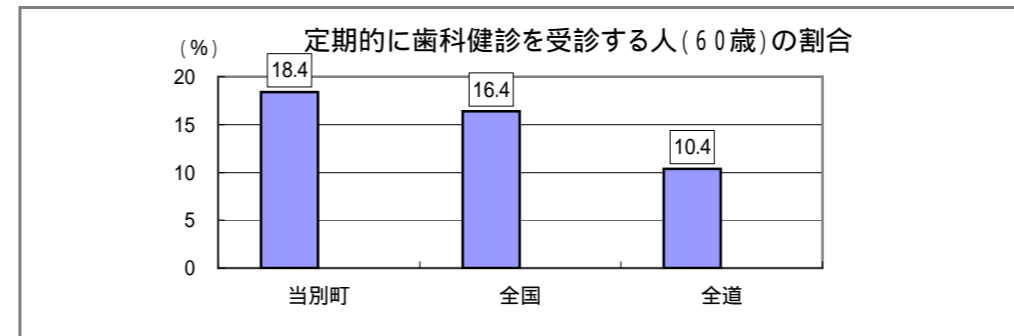
「歯ブラシと歯間ブラシなどを使用する人」は25.2%(全道17.9%)と全道より高くなっています。



「定期的に歯科健診を受診する人(60歳)」は、18.4%(全道10.4%)と、全道より高くなっています。

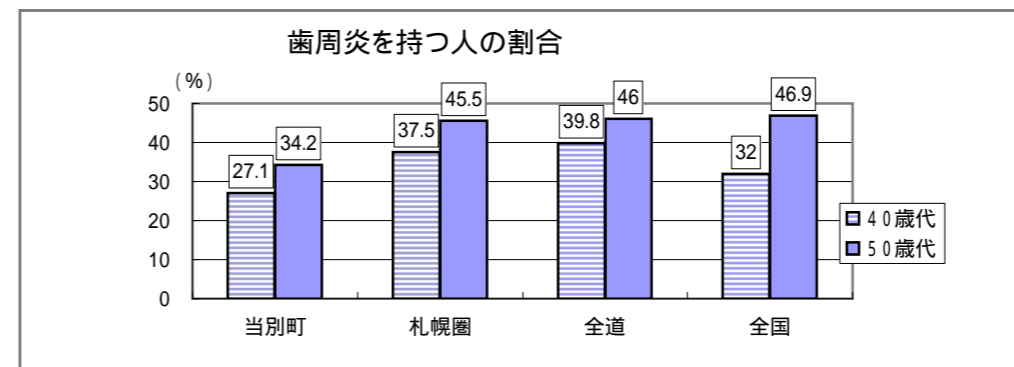


(成人歯科健診)



「歯周炎を持つ人」は、40歳代で27.1%、50歳代で34.2%と各年代ともに全道より低くなっています。

歯の健康に対する関心はまだ十分ではなく、痛みもなく進行する歯周病を予防し、8020運動⁶を推進する事が重要です。



資料: 国:平成12年健康日本21現状値 全道:平成11年度健康づくり道民調査
札幌圏:平成13年札幌市健康づくり基本計画に関する市民意識調査
当別町:平成15年当別町成人歯科検診受診者(147人)

⁶: 『8020運動』とは、「80歳まで20本の自分の歯を保とう」という健康づくり運動